

## 【高知市】第9期介護保険事業計画\_要介護認定者数の計画値と実績値の乖離について

### ■要支援・要介護認定者数

		9期		
		R6	R7	R8
計画値	合計（人）	20,390	20,589	20,775
	要支援認定者（人）	5,422	5,472	5,506
	要介護認定者（人）	14,968	15,117	15,269
実績値	合計（人）	19,845	-	-
	要支援認定者（人）	5,383	-	-
	要介護認定者（人）	14,462	-	-
対計画比	合計（%）	97.3	-	-
	要支援認定者（%）	99.3	-	-
	要介護認定者（%）	96.6	-	-

### (参考) 第1号被保険者数

		9期		
		R6	R7	R8
計画値	合計（人）	97,347	97,370	97,295
	前期高齢者（人）	41,164	39,865	38,888
	後期高齢者（人）	56,183	57,505	58,407
実績値	合計（人）	97,200	-	-
	前期高齢者（人）	41,064	-	-
	後期高齢者（人）	56,136	-	-
対計画比	合計（%）	99.8	-	-
	前期高齢者（%）	99.8	-	-
	後期高齢者（%）	99.9	-	-

【出典】 実績値⇒厚生労働省「介護保険事業状況報告」9月月報 計画値⇒介護保険事業計画にかかる保険者からの報告値

### 計画値と実績値の乖離について

令和6年度の実績は、要支援は5,383人（計画5,422人、達成率99.3%）、要介護は14,462人（計画14,968人、達成率96.6%）であった。

令和6年度末の高齢者人口（65歳以上）は、65～74歳が41,064人、75歳以上が56,136人、合計97,200人であり、計画値（65～74歳：41,164人、75歳以上：56,183人、合計：97,347人）とほぼ一致している。したがって、認定者数が計画を下回った要因は「人口の誤差」ではなく、以下のような要因が考えられる。

- (1) 新たに65歳に到達した高齢者で認定を受けた方の割合
- (2) 新規申請者のうち実際に要支援・要介護と判定される割合
- (3) 既に認定を受けている方の区分変更割合
- (4) 更新継続率および非該当化率（認定が外れる割合）
- (5) 申請から判定までが年度またぎとなること、死亡・転出などの外的要因

【高知市】第9期介護保険事業計画\_利用者数と給付費の計画値と実績値の乖離について

■第9期事業計画 利用者数

		R6			R7			R8			
		計画値	実績値	対計画比	計画値	実績値	対計画比	計画値	実績値	対計画比	
施設サービス	小計	(人)	29,628	28,707	96.9%	29,628	-	-	29,628	-	-
	介護老人福祉施設	(人)	13,992	13,799	98.6%	13,992	-	-	13,992	-	-
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	(人)	564	539	95.6%	564	-	-	564	-	-
	介護老人保健施設	(人)	5,664	5,370	94.8%	5,664	-	-	5,664	-	-
	介護医療院	(人)	9,408	9,103	96.8%	9,408	-	-	9,408	-	-
居住系サービス	介護療養型医療施設	(人)	0	3	-	0	-	-	0	-	-
	小計	(人)	21,732	18,706	86.1%	22,668	-	-	23,004	-	-
	特定施設入居者生活介護	(人)	9,780	7,608	77.8%	10,164	-	-	10,236	-	-
	地域密着型特定施設入居者生活介護	(人)	1,740	1,497	86.0%	1,740	-	-	1,740	-	-
	認知症対応型共同生活介護	(人)	10,212	9,601	94.0%	10,764	-	-	11,028	-	-
在宅サービス	小計	(人)	409,824	407,252	99.4%	420,000	-	-	426,396	-	-
	訪問介護	(人)	34,548	33,790	97.8%	35,232	-	-	35,232	-	-
	訪問入浴介護	(人)	540	422	78.1%	552	-	-	564	-	-
	訪問看護	(人)	19,260	19,147	99.4%	19,944	-	-	20,148	-	-
	訪問リハビリテーション	(人)	4,512	4,477	99.2%	4,824	-	-	4,824	-	-
	居宅療養管理指導	(人)	30,828	31,536	102.3%	32,496	-	-	32,856	-	-
	通所介護	(人)	33,444	36,347	108.7%	34,068	-	-	34,068	-	-
	地域密着型通所介護	(人)	26,064	24,994	95.9%	26,592	-	-	27,192	-	-
	通所リハビリテーション	(人)	15,540	14,538	93.6%	15,540	-	-	15,540	-	-
	短期入所生活介護	(人)	8,748	8,106	92.7%	9,672	-	-	9,756	-	-
	短期入所療養介護（老健）	(人)	1,128	652	57.8%	1,140	-	-	1,176	-	-
	短期入所療養介護（病院等）	(人)	0	3	-	0	-	-	0	-	-
	短期入所療養介護（介護医療院）	(人)	24	0	0.0%	24	-	-	24	-	-
	福祉用具貸与	(人)	91,368	93,404	102.2%	92,628	-	-	94,092	-	-
	特定福祉用具販売	(人)	1,668	1,752	105.0%	1,752	-	-	1,788	-	-
	住宅改修	(人)	1,512	1,339	88.6%	1,560	-	-	1,560	-	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	(人)	3,864	3,861	99.9%	4,032	-	-	4,224	-	-
	夜間対応型訪問介護	(人)	0	0	-	0	-	-	0	-	-
	認知症対応型通所介護	(人)	4,764	3,894	81.7%	4,800	-	-	4,848	-	-
	小規模多機能型居宅介護	(人)	4,236	3,870	91.4%	4,332	-	-	4,332	-	-
看護小規模多機能型居宅介護	(人)	2,016	1,909	94.7%	2,016	-	-	2,016	-	-	
介護予防支援・居宅介護支援	(人)	125,760	123,211	98.0%	128,796	-	-	132,156	-	-	

■第9期事業計画 給付費

		R6			R7			R8			
		計画値	実績値	対計画比	計画値	実績値	対計画比	計画値	実績値	対計画比	
施設サービス	小計	(円)	9,353,700,000	9,170,782,587	98.0%	9,365,537,000	-	-	9,365,537,000	-	-
	介護老人福祉施設	(円)	3,795,695,000	3,806,867,700	100.3%	3,800,499,000	-	-	3,800,499,000	-	-
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	(円)	177,203,000	171,105,621	96.6%	177,427,000	-	-	177,427,000	-	-
	介護老人保健施設	(円)	1,720,427,000	1,695,068,704	98.5%	1,722,604,000	-	-	1,722,604,000	-	-
	介護医療院	(円)	3,660,375,000	3,496,944,002	95.5%	3,665,007,000	-	-	3,665,007,000	-	-
居住系サービス	介護療養型医療施設	(円)	0	796,560	-	0	-	-	0	-	-
	小計	(円)	4,840,272,000	4,241,802,296	87.6%	5,062,353,000	-	-	5,147,639,000	-	-
	特定施設入居者生活介護	(円)	1,783,511,000	1,394,040,186	78.2%	1,855,603,000	-	-	1,870,082,000	-	-
	地域密着型特定施設入居者生活介護	(円)	349,458,000	291,169,314	83.3%	349,499,000	-	-	349,973,000	-	-
	認知症対応型共同生活介護	(円)	2,707,303,000	2,556,592,796	94.4%	2,857,251,000	-	-	2,927,584,000	-	-
在宅サービス	小計	(円)	15,499,339,000	15,219,860,841	98.2%	15,886,723,000	-	-	16,062,720,000	-	-
	訪問介護	(円)	1,627,584,000	1,564,469,798	96.1%	1,662,771,000	-	-	1,662,119,000	-	-
	訪問入浴介護	(円)	28,248,000	21,343,663	75.6%	28,913,000	-	-	29,566,000	-	-
	訪問看護	(円)	762,256,000	799,315,483	104.9%	790,420,000	-	-	798,576,000	-	-
	訪問リハビリテーション	(円)	174,534,000	164,747,738	94.4%	186,691,000	-	-	186,858,000	-	-
	居宅療養管理指導	(円)	283,879,000	300,496,115	105.9%	299,612,000	-	-	302,938,000	-	-
	通所介護	(円)	2,856,922,000	3,085,328,390	108.0%	2,913,888,000	-	-	2,913,323,000	-	-
	地域密着型通所介護	(円)	2,581,779,000	2,467,886,897	95.6%	2,636,698,000	-	-	2,696,394,000	-	-
	通所リハビリテーション	(円)	1,040,698,000	948,739,503	91.2%	1,042,016,000	-	-	1,041,602,000	-	-
	短期入所生活介護	(円)	594,250,000	559,428,099	94.1%	656,895,000	-	-	662,456,000	-	-
	短期入所療養介護（老健）	(円)	93,642,000	52,528,520	56.1%	95,016,000	-	-	98,123,000	-	-
	短期入所療養介護（病院等）	(円)	0	340,623	-	0	-	-	0	-	-
	短期入所療養介護（介護医療院）	(円)	0	0	-	0	-	-	0	-	-
	福祉用具貸与	(円)	1,053,885,000	1,108,023,548	105.1%	1,068,463,000	-	-	1,085,362,000	-	-
	特定福祉用具販売	(円)	46,099,000	46,037,988	99.9%	48,408,000	-	-	49,400,000	-	-
	住宅改修	(円)	86,199,000	81,129,939	94.1%	88,925,000	-	-	88,925,000	-	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	(円)	624,147,000	610,506,681	97.8%	654,014,000	-	-	683,103,000	-	-
	夜間対応型訪問介護	(円)	0	0	-	0	-	-	0	-	-
	認知症対応型通所介護	(円)	699,813,000	593,537,763	84.8%	706,365,000	-	-	712,830,000	-	-
	小規模多機能型居宅介護	(円)	860,729,000	793,661,398	92.2%	881,579,000	-	-	881,579,000	-	-
看護小規模多機能型居宅介護	(円)	504,760,000	483,326,848	95.8%	505,975,000	-	-	507,129,000	-	-	
介護予防支援・居宅介護支援	(円)	1,579,915,000	1,539,011,847	97.4%	1,620,074,000	-	-	1,662,437,000	-	-	

【出典】実績値⇒厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報。ただし、施設サービスの利用者数については、同一月に2施設以上でサービスを受けた場合、施設ごとにそれぞれ利用者数を1人と計上するが、小計には1人と計上。計画値⇒介護保険事業計画にかかる保険者からの報告値

### 計画値と実績値の乖離について

第9期介護保険事業計画期間（令和6年度）における介護給付サービスの利用者数は、計画値 461,184 人に対し実績値は 454,665 人で、計画値を 6,519 人下回った。給付費についても、計画値 29,693,311,000 円に対し実績値は 28,632,445,724 円で、計画値を 1,060,865,276 円下回った。

サービス種別ごとに見ると、利用者数は施設サービスが 921 人、居住系サービスが 3,026 人、在宅サービスが 2,572 人で計画値を下回り、給付費は施設サービスが 182,917,413 円、居住系サービスが 598,469,704 円、在宅サービスが 279,478,159 円下回る結果となった。

### 特定施設入居者生活介護・地域密着型特定施設入居者生活介護の乖離（－）

第9期介護保険事業計画では、令和6年度に既存施設から特定施設入居者生活介護への転換を 200 床予定していた。しかし、令和6年度中に当該事業が完了せず、計画どおりの供給増が実現しなかった。この遅延が居住系サービス全体の利用者数及び給付費を押し下げた主因と考えられる。

地域密着型特定施設入居者生活介護については、利用者数を定員数 145 人×12 か月で見込んでいたが、稼働率は約 86%にとどまり、利用者数および給付費は計画値を下回る結果となった。

### 訪問入浴介護の乖離（－）

高知市では令和6年度末時点で訪問入浴介護を実施する事業所が 2 事業所しかないため、利用者の利用頻度の低下などがそのまま実績減に直結しやすくなっている。第9期介護保険事業計画では過去の実績を基に伸び率を算出し、前年度実績に乗じて見込んでいたが、実際の利用者の伸びは見込みより小さく、結果的に計画値との乖離が生じた。

### 短期入所療養介護（老健）の乖離（－）、通所介護の乖離（＋）

短期入所療養介護（老健）については、利用者数は 476 人、給付費は 41,113,480 円で、いずれも計画値を下回る結果となった。計画値を下回った要因として、要介護度の高い利用者が増え、短期利用では対応しきれないケースが増加して施設サービスへの移行が強まったことが考えられる。施設サービスの実績は計画値を下回っているものの、他のサービスほどの減少幅は大きくないため、一定数の利用者が施設サービスへ移行した可能性がある。

通所介護は利用者数および給付費が計画値を大きく上回っており、利用者の状態や家族の意向、在宅支援体制の変化により在宅継続を目指して通所介護へ移行したケースがある一方で、家族の介護負担軽減や日常生活における生活機能の向上、交流の場を求めて通所介護を利用する者も増加したと考えられる。

### 住宅改修の乖離（－）

住宅改修の約 8～9 割が手すり設置によるものである。件数・給付費ともに減少傾向にあり、これは認定者の住居の質が向上したことや、固定する工事を必要としない手すりを福祉用具貸与として利用している者が増加した可能性が考えられる。

### 認知症対応型共同生活介護・認知症対応型通所介護の乖離・小規模多機能型居宅介護の乖離（－）

第9期介護保険事業計画では第8期介護保険事業計画期間中に完成しなかった施設が令和6年度中に完成することを見越して定員拡大分の利用者数の増加を見込んでいなかったが、施設完成を直ぐに定員数いっぱいになることがなかったため、計画値と実績値に乖離が生じたものと考えられる。